

》商工会議所活用レシピ

FILE 13

商工会議所とは長年にわたるお付き合い
攻めるときも守るときも頼りにしています

創業55年目を迎える当店は、北海道は苫小牧近郊の清流・沙流川の上流部でとれる「ヤマベ（標準語でいう山女）」料理を中心に、お客様に旬の味わいを提供する日本料理屋です。

私が経営者として、何か新しいことを始めようとするとき、いつも気軽に相談できるのは、旧知の仲である苫小牧商工会議所の金子さん。私と一緒に考えてくれる「経営のプロ」であり、「同志」ともいえる存在です。

3年前まで、当店の和室は、正座やあくらでお食事するスタイルでした。ただ、ひざなどの悪いお客様には負担が大きく、改善策を検討していました。そこで、金子さんといういろいろ考えた末、畳の上に洋式のテーブル

といすを置くことにしました。

これなら、体への負担も少なく、若い方にも好評。しかも、内装工事の費用がほとんど不要というのも、大きなポイントです。

また、商工会議所主管の「東胆振地産地食フェア」への出展を機に、新メニューを開発したこともあり、苦小牧は、ホッキ貝の水揚げ量が全国一。その特徴を生かした目玉商品づくりを目指し「ほつき笹寿司」が生しました。

柔らかくみずみずしいホッキ貝を、天然塩と魚醤（魚類などを原料にしたしょうゆ）で味付けし、握りずしにしたんです。さらに、スタチを搾って笹で包み、さわやかな野趣あふれる香りを加えました。ホッキの赤、シヤリの白、笹の緑、と彩りも



有限会社日本橋
代表取締役
齊藤 芳行 さん

華やか。おかげさまで、現在では当店の人気メニューとして定着しています。

金融機関からの過剰融資に悩んだ時期もありました。本業が順調だったこともあり、必要のない借り入れを勧められても断りきれず、結果的に本業を圧迫する状況に陥ってしまったのです。そこで、その経緯を金子さんに相談し、あらためて金融機関と交渉。融資条件を見直してもらい、返済のめどを付けることができました。

そのほか、苫小牧商工会議所の「自動車リース事業」や「とまポン事業」も利用し、大いに役立っています。攻めるときも守るときも頼りになる商工会議所。これからもよろしくお願いします。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



苫小牧商工会議所(北海道)
調査役
金子 篤博

齊藤さんは、15年前にこちらに移転。以来、共通の友人がいることもあり、公私にわたり、お話しする機会は多いですね。

経営のご相談を受けたら全力で応えるのはもちろんのこと、商工会議所の会員サービス事業も積極的にお知らせしています。

例えば「とまポン事業」は、会員企業の従業員などが、別の会員企業の飲食店や物販店などを利用するときの優待制度。また、「自動車リース事業」は、オリックス自動車との提携により、特別料金で自動車をリースできるもの。ともに当所のオリジナルです。これからも、会員の皆様に喜んでもらえるよう力を尽くします。